

日本応用心理学会第 87 回大会プログラム

The 87th Annual Convention of Japan Association of Applied Psychology



(宝珠山 立石寺)



87 回大会ホームページ

<http://congress.j-aap.jp/2021/>



参加申込フォーム

<https://j-aap.jp/Registration3/>

【本会期】 2021年 8月28日(土) ~ 29日(日)

【Web会期】 2021年 8月28日(土) ~ 9月26日(日)

主催：東北文教大学 (Web Virtual 開催のため会場参集はございません)

 **東北文教大学**

大会参加者へのご案内

1.大会受付

日時：【本会期】2021年 8月28日（土）～29日（日）

【Web会期】2021年 8月28日（土）～9月26日（日）

場所：東北文教大学 ※原則として会場参集はございません。

【名誉会員の方】

名誉会員の方は、大会参加費、発表費、研修会費はすべて無料です。また、大会終了後に発表論文集を1冊お送りします。

【事前予約参加の方】

発表者（連名発表者を含む）、ワークショップの発表者・企画者、文集購入者には、大会終了後に発表論文集をお送りします。

【当日参加の方】

当日参加の方は、「大会 Web」にて、お申し込みください。

ただし、ID等の発行の関係上、8月25日（水）までにお願いいたします。

(注1)大会関係の諸経費(事前予約以降の納入)について

		会 員		非会員	
大会参加費	一般会員・終身会員	6,000円	一般	7,000円	
	院生会員	3,500円	大学院生	3,500円	
	学生会員	無料	学部学生（高校生含）	無料	
研修会費		1,000円		1,500円	
論文集代	個人	6,000円	個人	6,000円	
	機関	8,000円	機関	8,000円	

2.理事会・会員総会

【理事会】 8月27日（金）16:00-17:30 Zoom ミーティングを利用

Web開催とします。開催時間が限られているため、議事資料は8月20日（火）までにメール送付いたします。報告・審議事項に関するご意見ご質問は、事前に事務局までお送り下さい。

【会員総会】 8月28日（土）12:30-13:15 Zoom ミーティングを利用

一部をWeb開催とします。開催時間が限られているため、審議事項および報告事項の詳細な資料については学会WEBサイトからダウンロードしていただき、時間をとってご検討をお願い致します。総会資料のダウンロード（閲覧）は、8月28日（土）から9月4日（土）までといたします。詳しくは「2021年度会員総会のご案内」をご参照下さい。

口頭発表者へのご案内

【発表者の方へ】

1. Zoom ミーティングを利用して行います。ご参加する際は、事前に Zoom アプリのインストールをお願いいたします。また、発表スライドの容量は、20Mバイト以内です。
2. 口頭発表は、論文集への論文掲載、当日の発表・質疑応答への参加によって、公式発表とみなされます。
3. 連名発表の場合、発表及び質疑応答は責任発表者が行うものとします。発表時間は1件につき20分です。そのうち、講演が15分・質疑応答が5分です。発表中は以下の通りに合図いたします。
1 鈴 : 12分経過 2 鈴 : 15分経過(発表終了) 3 鈴 : 20分経過(質疑応答終了)
4. 大会委員会で口頭発表用の Zoom の URL を8月20日頃にお送りします。セッション開始15分前までにお入りいただき、動作確認等をお願いいたします。画面共有してパワーポイントによるスライド発表のみとなります。その他の映像提示装置は使用できません。
5. 発表者自身の責による映写の不具合については、大会委員会は一切責任を負いません。またそれに伴う、発表時間の延長も原則行いません。

【座長の方へ】

1. ご担当されるセッションの開始10分前までにお入りください。
2. 視聴者から質問や意見を述べられる方には、お名前とご所属を明らかにするようお伝えください。
3. 発表中の合図については、大会委員会からタイムキーパー係を配置いたします。
4. 終了時間厳守をお願いいたします。

ポスター発表者へのご案内

1. Web 会期中(8月28日~9月26日)、発表データをオンライン開催サイトにて掲載いたします。また、発表スライドの容量は、10Mバイト以内です。
2. ポスター発表は論文集への論文掲載、Web 会期中の発表データ掲載、およびコメント形式の質疑応答への参加によって、公式発表とみなされます。

自主企画ワークショップ発表者・企画者へのご案内

【発表者の方へ】

1. Zoom ミーティングを利用して行います。ご参加する際は、事前に Zoom アプリのインストールをお願いします。
2. 大会委員会で自主企画ワークショップ用の Zoom の URL を 8 月 20 日頃にお送りします。セッション開始 15 分前までにお入りいただき、動作確認等をお願いいたします。

【企画者の方へ】

1. ご担当されるセッションの開始 15 分前までにお入りください。
2. 視聴者から質問や意見を述べられる方には、お名前とご所属を明らかにするようお伝えください。
3. 終了時間厳守をお願いいたします。

理事・監事の皆さまへ

以下の通り、理事会を開催いたします。理事、監事の皆さまは、別途お送りします Zoom の URL へお入りいただきますようよろしくお願い申し上げます。

日時 8 月 27 日 (金) 16:00-17:30 Zoom ミーティングを利用

【大会についてのお問い合わせと連絡先】

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 518 司ビル 3F (株) 国際ビジネス研究センター

日本応用心理学会大会受付事務局

電話：03-5273-0473 (平日 9:30 ~ 17:30)

FAX：03-3203-5964

Email：j-aap[at]ibi-japan.co.jp ※[at]はアットマーク

直接準備委員会に問い合わせる場合は、jaap2021[at]g-tbunkyo.jp へお願いします。

※[at]はアットマーク

タイムテーブル

大会1日目 8月28日（土）		大会2日目 8月29日（日）	
9:30	大会受付（webサイト入室）	9:00	大会受付（webサイト入室）
10:00	大会企画シンポジウム① 休憩（15分）	9:30	自主企画ワークショップ② 休憩（15分）
11:15	口頭発表① 休憩（15分）	11:15	口頭発表② 休憩（15分）
12:30	会員総会 休憩（15分）	13:00	大会企画シンポジウム③ 休憩（15分）
13:30	特別講演 休憩（15分）	14:15	口頭発表③ 休憩（15分）
14:45	大会企画シンポジウム② 休憩（15分）	15:30	大会企画シンポジウム④
16:00	自主企画ワークショップ①	16:30	
17:30			

特別講演・大会企画シンポジウム・自主企画ワークショップ・研修会

特別講演

8月28日(土) 13:30-14:30 動画配信

題目：出来事と行為とことば

身の回りに発生する事柄や人間の行為。それらを言葉として表すとき、いったいどのように事象を認識し、言葉のシステムによって切り分け、文として表現しているのでしょうか。過去のことでないのに「過去形」を使うとされる山形の方言や「霜でサクランボの雌しべをたくさん枯らしてしまった。」(作例)のような他動詞を述語とする表現などから、日本語表現のそうしたおもしろさについてお話しできたらと思います。

講演者 須賀 一好(東北文教大学 学長)

大会企画シンポジウム①

8月28日(土) 10:00-11:00 オンライン配信とし、Web会期中は大会Webから閲覧可能

題目：宮城県東松島市認知症支援事業

健康日本21においては、健康を支え、守るための環境の整備の一環として「国民が主体的に行う健康づくりの取り組み」が強調されている。また、介護予防においても「住民自身が主体的に運営する活動」による地域づくりの重要性が指摘されている。これらの背景のなか、本シンポジウムでは大学研究者も関りを持ちながら、そこに住まう方々と行政が一体となり取り組んできた「認知症カフェ」について紹介し、地域づくりの視点等から議論を深めたいと考えている。

司会 北川 公路(東北文化学園大学)

話題提供 石垣 仁子(東松島市中部包括支援センター)

成澤 孝子(東松島市認知症カフェ)

香山 明美(東北文化学園大学)

指定討論 北川 公路(東北文化学園大学)

大会企画シンポジウム②

8月28日(土) 14:45-15:45 オンライン配信とし、Web会期中は大会Webから閲覧可能

題目：新型コロナウイルスがもたらした対人不安と、アフターコロナの対人関係へ向けて

新型コロナウイルス(COVID-19)は飛沫感染なので、対人接触を極力減らすことが感染予防とされている。このため、テレワークやマスクの着用など人との接触を極力なくした世界から、アフターコロナの時代になったとき、私たちはマスクを外して、そのような対人関係が構築されるのだろうか。本シンポジウムは、新型コロナウイルスがもたらした対人不安とアフターコロナの対人関係について考える。

司会 佐藤 恵美(東京富士大学)

話題提供 佐藤 恵美(東京富士大学)

銅直 優子(流通科学大学)

花屋 道子(東北文教大学)

指定討論 濱 保久(北星学園大学)

大会企画シンポジウム③

8月29日(日) 13:00-14:00 オンライン配信とし、Web会期中は大会Webから閲覧可能

題目：応用心理学とキャリアデザイン～学びを活かして働くために～

会員同士の相互理解を深めること、若手に対して様々なキャリアを示すこと、学生等外部からの参加者に対して応用心理学の仕事について知ってもらうことの3点を目的とした企画です。

本学会には、実践の場で働いている先生方や、応用的な場所を研究活動の対象としている先生方が多数ご所属されています。今回は、企業の現場での経験や、社会人院生としての経験などを、2名の先生よりお話いただきます。

司 会 渡辺 伸子（東北公益文科大学）

話題提供 伊東 昌子（元常磐大学心理学科教授・成城大学経済研究所）

藤本 吟藏（藤本労働安全コンサルタント事務所所長）

大会企画シンポジウム④

8月29日(日) 15:30-16:30 オンライン配信とし、Web会期中は大会Webから閲覧可能

題目：コロナ禍と差別・偏見

新型コロナウイルス感染症に関連して、感染者、障がい者、医療・福祉従事者やこれらの方々の家族に対する差別・偏見の事例が多く見られる。この企画では、実際に新型コロナウイルス感染症に感染した方、障がい者、医療・福祉従業者やこれらの方々の家族が受けた差別・偏見の事例を通して、相手の立場に立った言動について考える。

司 会 南條 正人（東北文教大学）

話題提供 山形 花子（仮名；新型コロナウイルス感染経験者，医療従事者）

渡邊 京子（社会福祉法人走翔会 相談支援事業所ふいご）

高梨 友也（東北文教大学）

自主企画ワークショップ①

8月28日(土) 16:00-17:30 オンライン配信とし、Web会期中は大会Webから閲覧可能

題目：心理学における実践 第2報：心理学の社会実装をめざして

社会実装とは研究成果を実際に社会で使われるものにするための活動である。これまで社会実装は工学を中心に行われてきたが、心理学においてどのような社会実装としての活動が可能かを検討する。

司 会 田中 堅一郎 (日本大学大学院)

話題提供 稲葉 隆 (株式会社日本カラーデザイン研究所)

小林 敦子 (川越市男女共同参画審議会)

二瓶 哲 (日本大学大学院総合社会情報研究科)

岡本 裕介 (プラス株式会社ファニチャーカンパニー)

自主企画ワークショップ②

8月29日(日) 9:30-11:00 オンライン配信とし、Web会期中は大会Webから閲覧可能

題目：「陰謀論」の心理学 サブカルチャーとしての「陰謀論」・マインドコントロールとしての「陰謀論」

日本では陰謀論は心理学の研究対象としてあまり注目されてこなかった。本ワークショップは、サブカルチャーとマインドコントロールの2つの視点で陰謀論に注目し、陰謀論を心理学的に検討することを目的として企画した。

司 会 山岡 重行 (聖徳大学)

話題提供 菊池 聡 (信州大学)

西田 公昭 (立正大学)

指定討論 松田 浩平 (東北文教大学)

研修会 A

日程：8月28日（土） オンデマンド配信とし、Web 会期中は大会 Web から閲覧可能

司会：桐生 正幸（東洋大学）

講師：小嶋 理江（名古屋大学 未来社会創造機構モビリティ社会研究所）

題目：交通心理への研究アプローチ

航空、海上、陸上（道路、鉄道）と幅広く日常生活に密接した身近な移動性（モビリティ：mobility）に関わる交通行動を対象とし、人間が犯すミス（ヒューマンエラー：human error）や無謀な行動（リスクテイキング：risk taking）、モビリティと人間行動のメカニズムなどを心理学的に解明し、社会への還元を目指すのが交通心理学である。基礎的研究から応用研究まで、活躍する心理学的研究を紹介していきたい。

講師：小野 洋平（駒澤大学文学部）

題目：科学的犯罪捜査への眼球運動の応用

「目はこころの窓」といわれるように、眼球運動は、認知活動を知るうえで重要な指標である。また、視線を合わせる、注意喚起のために視線を向けるなど、対人場面での眼球運動は、互いの意図を伝えるための情報伝達機能を有している。一方、嘘をつく場合など、本心を伝えたくない状況や、本心とは異なる情報を伝えたい状況では、どのような眼球運動が観察されるだろうか。本研修では、実験的隠匿情報検査時の眼球運動とその心理的背景について報告する。

研修会 B

日程：8月29日（日） オンデマンド配信とし、Web 会期中は大会 Web から閲覧可能

司会：桐生 正幸（東洋大学）

講師：染矢 瑞枝（一般社団法人ココロバランス研究所）

題目：心理学研究のビジュアル化テクニック

ビジュアライゼーションは、直接見ることができない現象・事象・関係性等を「直感的に、解像度高く」伝えるうえで有用である。本動画では、心理学研究の計画から分析、発表の各段階におけるビジュアル表現の活用について解説する。また、データの性質に適したグラフ化や、すべての人に配慮したユニバーサルデザインのポイントも紹介する。

講師：入山 茂（東洋大学社会学研究科）

題目：空港を取り巻く犯罪

空港は、人々が社会・経済的な活動をするうえで重要な公共インフラの1つである。一方、空港には多くの人、物やシステムが集まるため、様々な犯罪に注意、対応する必要がある場所でもある。本研修では、空港を取り巻く犯罪に着目し、(a) 空港を対象とした犯罪（例：テロリズム、サイバー攻撃）、(b) 空港を利用した犯罪（例：航空機ハイジャック、密輸）、(c) 空港で発生する犯罪や逸脱行為（例：非侵入盗、航空会社への悪質クレーム）の背景および様態について解説する。従来の応用心理学研究ではほとんど目にする事のなかったテーマである、空港を取り巻く犯罪の背景および様態への理解を深め、応用心理学研究を進めるうえでの新たな視点を得ることを目指す。

口頭発表 8月28日(土)

口頭発表① 11:15～12:15

座長 小嶋 理江

OR-01 運転免許停止処分者講習の受講効果の検討

- 小嶋 理江 (名古屋大学未来社会創造機構)
- 庄島 宏二郎 (大学入試センター) *

OR-02 高齢ドライバーの運転行動の縦断的研究

—意識と認知機能の観点から—

- 今井 靖雄 (帝塚山大学大学院)
- 蓮花 一己 (手塚山大学)

OR-03 子どもと父母のトライアドデータに示される「命てんでんこ」の実践の難しさ

- 前田 楓 (大阪市立大学大学院都市文化研究センター・日本学術振興会 (DC2)・安田女子大学)

口頭発表 8月29日(日)

口頭発表② 11:15～12:35

座長 竹内 倫和

OR-04 コロナ禍における若年従業員の自律的職務行動に向けた支援型リーダーシップの役割

—媒介モデルの検討—

- 竹内 倫和 (学習院大学)
- 石田 将 (富士ソフト株式会社) *
- 枝 卓也 (株式会社埼玉りそな銀行) *
- 杉山 彰英 (テルモ株式会社) *
- 塚本 正樹 (富士ソフト株式会社) *
- 野田 幸紀 (NEC マネジメントパートナー株式会社) *
- 長谷川 達哉 (ENEOS 株式会社) *

OR-05 発達障害者の模索型キャリア育成モデル

—自己理解と支援環境の促進を促す職場環境に向けて—

- 渡辺 めぐみ (常磐大学)
- 伊東 昌子 (成城大学)

- OR-06 矯正施設における再犯防止施策の効果的な実施に向けての考察
—長崎刑務所における再犯防止施策の効果検証から—
○若林 鉄也（法務省長崎刑務所）
木村 裕介（法務省鹿児島少年鑑別所）*

- OR-07 部下からの被信頼が上司にもたらす心理的効用（3）
—縦断データによる分析—
○藤原 勇（聖心女子大学）

口頭発表 8月29日（日）

口頭発表③ 14:15～15:15

座長 山岡 重行

- OR-08 同伴者効果に現れたジェンダーステレオタイプ
○山岡 重行（聖徳大学）

- OR-09 植物に対する価値観と園芸的行動の関係
○木曾 結乃（京都工芸繊維大学大学院）

- OR-10 不織布マスク着用による表情誤認と透明マスク着用によるその改善
○宮崎 由樹（福山大学）
鎌谷 美希（北海道大学）*
須田 朋和（ユニ・チャーム株式会社）*
若杉 慶（ユニ・チャーム株式会社）*
松長 芳織（ユニ・チャーム株式会社）*
河原 純一郎（北海道大学）*

ポスター発表

原理

- PS-01 高嶋正士と偉大性心理学
—偉人・天才の偉大性について—
○藤田 圭一（日本体育大学）

認知

- PS-02 抑うつが感情的な自伝的記憶における検索誘導性忘却に及ぼす影響
—生成パラダイムからの検討—
○蘇 心寧（中央大学）
兵藤 宗吉（中央大学）

- PS-03 マンガの読み時間から読み手の性格を推定する
○和田 裕一（東北大学）

感情

- PS-04 Financial Threat Scale 日本語版の作成（1）
○渡辺 伸子（東北公益文科大学）
沼田 真美（目白大学）

- PS-05 Financial Threat Scale 日本語版の作成（2）
○沼田 真美（目白大学）
渡辺 伸子（東北公益文科大学）

- PS-06 色彩に投影された時代性に関する考察
○稲葉 隆（株式会社日本カラーデザイン研究所）

教育

- PS-07 保育実習生の実践計画力が担任業務に対する不安、効力感に及ぼす影響
○山本 睦（常葉大学）

- PS-08 大学生の対人支援ボランティア場面でのストレスに関する研究
—参加動機と期待するサポートとの関連—
○亀田 凌雅（帝塚山大学大学院心理科学研究科）
中地 展生（帝塚山大学大学院心理科学研究科）

- PS-09 ロール・プレイングを介護現場で生かすために
○時田 学（日本大学）

- PS-10 低年齢の子どものインターネットに対する理解と保護者によるインターネット利用への介入行動との関連
- 松尾 由美 (江戸川大学)
 - 田島 祥 (東海大学) *
 - 鄭 姝 (お茶の水女子大学) *
 - 坂元 章 (お茶の水女子大学) *
- PS-11 幼稚園教諭・保育士養成課程における児童虐待教育に関する研究(1)
—特別支援教育における被虐待児との関係について—
- 石橋 裕子 (帝京科学大学)
 - 林 幸範 (学研アカデミー保育士養成コース)
- PS-12 一般大学学生の教師に関するイメージの調査について
- 軽部 幸浩 (日本大学)
 - 藤田 主一 (日本体育大学)
- PS-13 大学適応感とコロナ禍における絶望感がストレス反応に及ぼす影響
—大学新入生と上級生(2~4年生)との比較—
- 北見 由奈 (湘南工科大学)
- PS-14 表情模倣と表情表出を向上させる簡易トレーニング
—オンラインツールを用いた授業での活用—
- 谷田 林士 (大正大学)
- PS-15 予備校生のイラショナルビリーフとストレス反応の関連について
- 竹内 利光 (東京成徳大学大学院)
- PS-16 一人1台端末時代の学習環境における中学入学後の中学1年生の英語への意識についての検討
- 大門 耕平 (近江兄弟社中学校)
 - 来村 和樹 (近江兄弟社中学校)
 - 来田 宣幸 (京都工芸繊維大学大学院)

発達

- PS-17 発達に支援が必要な子どもたちとのポジティブな経験の重要性
—保育・児童発達支援施設を対象とした調査研究をもとに—
- 横井川 美佳 (京都大学大学院人間・環境学研究所)
 - 田中 真介 (京都大学国際高等教育院)

人格

- PS-18 パーソナリティ特性変化の20年間にわたる縦断的研究
—成人男性のTPI(東大版総合人格目録)各尺度に基づいて—
- 外島 裕 (日本大学)

- PS-19 青年の自己有能感形成に関する研究
—両親による幼児期のしつけと両親・先生による賞賛との関連性から—
○尾形 和男 (埼玉学園大学)
増南 太志 (埼玉学園大学)

臨床

- PS-20 マインドフルネスの阻害要因尺度および促進要因尺度の予備的検討
○福市 彩乃 (関西大学大学院心理学研究科・日本学術振興会)

福祉

- PS-21 通所介護サービスの利用者における認知機能の評価
—広島県の介護施設における予備的検討—
○木村 友昭 (一般財団法人 MOA 健康科学センター)

相談

- PS-22 医療における「中間的機能」の役割について
○林 潔 (白梅学園短期大学)
- PS-23 わが国と中国のカウンセリング・心理療法の3つのモデルについて
○高橋 浩子 (山手心理教育研究所)
高橋 良博 (駒澤大学)
林 潔 (白梅学園短期大学)
加藤 博己 (駒澤大学)
竹内 啓恵 (東京農業大学地域環境学部森林総合科学科)
李 同帰 (北京大学心理・認知科学院) *

健康

- PS-24 社会的問題解決能力と肯定的感情あるいは否定的感情の相互影響関係
○鷺見 克典 (名古屋工業大学大学院)
- PS-25 コロナ禍で大学生はどのようなソーシャルサポートを受けているのか
○上田 仁 (愛知県庁)
- PS-26 COVID-19 流行期における高齢者の行動変化と心理的变化
○山内 さつき (名古屋大学未来社会創造機構)
島崎 敢 (名古屋大学未来社会創造機構)
小嶋 理江 (名古屋大学未来社会創造機構)
青木 宏文 (名古屋大学未来社会創造機構) *

PS-27 子育て女性の健康増進および心理的ウェルビーイング向上を目的としたランダム化比較試験
—対人関係向上動画プログラム=HIPCom(ヒプコム)の開発および効果検証—
○島田 恭子 (東洋大学現代社会総合研究所)
染矢 瑞枝 (一般社団法人ココロバランス研究所)
桐生 正幸 (東洋大学)

PS-28 日本人要支援高齢者の幸福観に関する事例的研究
—適応的受容モデルによる認知的調整機序の探索—
○沼 柊門 (岡山大学大学院社会文化科学研究科)
田中 共子 (岡山大学大学院社会文化科学研究科)

PS-29 高齢期の慢性疾患に伴うストレス対処過程の検討
—急性症状の発症からその予後に着目して—
○村山 陽 (東京都健康長寿医療センター研究所)

PS-30 長期的課題遂行時の伸び悩みと克服と成長
○本多 麻子 (東京成徳大学)

看護

PS-31 看護学臨地実習前における看護学生の自己効力感と実習適応感との関係
○龔 恵芳 (関西大学大学院心理学研究科)

PS-32 看護学生を対象とした表情認知判断スキル向上のための訓練プログラムの効果
○稲野辺 奈緒子 (立正大学大学院心理学研究科)
古屋 健 (立正大学)

医療

PS-33 骨折治療としての多機能補完リハビリテーションが独居高齢者の生活にもたらすもの
○佐藤 弘一郎 (一般財団法人脳神経疾患研究所附属南東北福島病院)
内藤 哲雄 (明治学院大学)

犯罪

PS-34 厳罰傾向と経済的不安およびアイデンティティの不安定性の関連
—二分法的思考の調整効果—
○向井 智哉 (東京大学法学政治学研究科)
野上 智行 (筑波大学人間総合科学学術院人間総合科学研究群) *

PS-35 書字速度を用いた筆跡の分類
○関 陽子 (科学警察研究所)

PS-36 隠匿情報検査における被検査者の不安傾向と眼球運動
○小野 洋平 (駒澤大学)

- PS-37 PFI 刑務所と地域の共生の進展
—社会復帰促進センター近隣住民への面接調査—
○上瀬 由美子 (立正大学)

社会

- PS-38 「陰キャ」と「陽キャ」に関する一考察
○濱 保久 (北星学園大学)
- PS-39 集団内・集団間コミュニケーション研究のための予備的検討
—内容分析を用いて—
○楊 婧葉 (群馬大学)
柿本 敏克 (群馬大学)
細野 文雄 (群馬大学) *
- PS-40 高層住宅または高層階住居での健康等問題に関する言説の分析
○廣島 克佳
- PS-41 ストレスマインドセット介入によるストレス認知への影響
○磯 友輝子 (東京未来大学)
三國 志保 (筑波大学附属坂戸高等学校) *
- PS-42 接客対応者へのカスタマーハラスメントにおける COVID-19 の影響
○桐生 正幸 (東洋大学)
島田 恭子 (東洋大学)
染矢 瑞枝 (一般社団法人ココロバランス研究所)
- PS-43 コロナ禍における感情状態と消費行動との関連
○谷口 淳一 (帝塚山大学)
- PS-44 感染症流行時の心理反応に関する研究 3
○高橋 良博 (駒澤大学)
高橋 浩子 (山手心理教育研究所)
- PS-45 女性の顔形態の差異による外見に関する経験の違い
—インタビュー調査とインターネット調査による検討—
○九島 紀子 (一般社団法人日本顔・印象コンサルティング協会)
上瀬 由美子 (立正大学)
- PS-46 キャンパス内全面禁煙に対する態度の影響要因
○王 晋民 (千葉科学大学)

産業

PS-47 組織機能阻害行動に対するアンガーマネジメントの有効性の検討
○仙波 亮一（京都橘大学）

PS-48 カロリー情報の表示場所が消費者の食品選択に及ぼす影響
—一般サンプルにおける検討—
○井上 裕珠（日本大学）

交通

PS-49 タッチパネルスクリーンを用いたハザードパーセプションテストの開発と高齢ドライバ・非高齢ドライバ・運転指導員の反応の違い
○島崎 敢（名古屋大学未来社会創造機構）
小嶋 理江（名古屋大学未来社会創造機構）
山内 さつき（名古屋大学未来社会創造機構）
青木 宏文（名古屋大学未来社会創造機構）

PS-50 道路横断行動に関わる児童の特性の年度差
○大谷 亮（(一財)日本自動車研究所）

PS-51 ドライバーへの感謝が無信号横断歩道での一時停止に及ぼす影響
—質問紙調査による検討—
○森泉 慎吾（帝塚山大学）
白井 伸之介（大阪大学大学院人間科学研究科）

災害

PS-52 継続する自然災害による被災者への長期的影響
—2000年三宅島噴火から20年後の被災者の精神健康調査から—
○大森 哲至（帝京大学）

スポーツ

PS-53 ゴルフ競技者によるTAISスポーツ競技特性不安とACTのスキルの関係性についての検討
○大川 浩二（日本大学大学院総合社会情報研究科）
種ヶ嶋 尚志（日本大学）

PS-54 スポーツ競技中におけるネガティブな内容の思考はパフォーマンスを妨げるのか？
○有富 公教（医療法人社団久響会あいクリニック神田）

PS-55 日体大版剣道イメージ尺度 (NIKS) の作成 (1)

—研究目的と予備的調査について—

- 古澤 伸晃 (日本体育大学)
- 新里 知佳野 (日本体育大学)
- 八木沢 誠 (日本体育大学)
- 軽部 幸浩 (日本大学)
- 藤田 圭一 (日本体育大学)

PS-56 高校陸上競技選手に実施した心理的サポートの事例研究

—長距離選手を対象として—

- 小松 健一 (アキラ株式会社)

教育発表

ST-01 ロールプレイングについて

- 中村 謙吾（日本大学）＊
- 井出 駿佑（日本大学）＊
- 森田 麻衣（日本大学）＊
- 時田 学（日本大学；指導教員）

ST-02 大学生の地域愛着と商店街利用の関係

—生活形態の違いが生む商店街利用の差—

- 菅原 紗南（日本大学）＊
- 渡邊 蓮（日本大学）＊
- 時田 学（日本大学；指導教員）

ST-03 大学生における白色と黒色のイメージ調査

- 竹田 朋未（日本大学）＊
- 中野 綾香（日本大学）＊
- 本田 直輝（日本大学）＊
- 井上 裕珠（日本大学；指導教員）

ST-04 知識があれば昆虫食のイメージは変わる？

—昆虫食に対する情報が大学生の昆虫食へのイメージに与える影響—

- 相内 朱里（日本大学）＊
- 鳥元 蒔（日本大学）＊
- 野島 咲笑（日本大学）＊
- 井上 裕珠（日本大学；指導教員）

ST-05 好きな商品は、触るイメージをすることで手放したくなくなる？

—製品を触るイメージと関与の程度が心理的所有感に及ぼす影響—

- 石原 功大（日本大学）＊
- 大橋 颯人（日本大学）＊
- 清重 えりさ（日本大学）＊
- 井上 裕珠（日本大学；指導教員）

ST-06 地域に密着したボランティア活動

- 東海大学山形高等学校 JRC 部
- 難波 睦子（東海大学山形高等学校；指導教員）

協 賛

株式会社 北大路書房 様

学校法人 富澤学園 様

山形建設 株式会社 様

(五十音順)

協 力

一般社団法人 日本心理学諸学会連合 心理学検定局

本大会を開催するにあたり，上記の企業，団体様から協賛をいただいたことを心より感謝申し上げます。

日本応用心理学会 第 87 回大会準備委員長 松田浩平

日本応用心理学会 第 87 回大会準備委員会

委員長	松田 浩平	(東北文教大学)
事務局長	南條 正人	(東北文教大学)
監事	大江 篤志	(東北文教大学)
副委員長	花屋 道子	(東北文教大学)
副委員長	永盛 善博	(東北文教大学)
委員	福田 真一	(東北文教大学)
委員	中俣 友子	(東北文教大学)
委員	三道 なぎさ	(東北文教大学)
委員	高梨 友也	(東北文教大学)
委員	軽部 幸浩	(日本大学)
委員	北川 公路	(東北文化学園大学)
委員	佐藤 恵美	(東京富士大学)
委員	渡辺 伸子	(東北公益文科大学)
顧問	桐生 正幸	(東洋大学)

日本応用心理学会 第 87 回大会プログラム

発行日: 2021 年 8 月 6 日

発行者: 日本応用心理学会

第 87 回大会準備委員会 委員長 松田浩平

〒990-2316 山形県山形市片谷地 515

東北文教大学 松田浩平研究室内

北大路書房

〒603-8303 京都市北区紫野十二坊町12-8
☎ 075-431-0361 FAX 075-431-9393
http://www.kitahoji.com

非認知能力

—概念・測定と教育の可能性— 小塩真司編著 A5・320頁・定価2860円(税込) 「人間力」など漠然と語られがちな非認知能力を心理特性の集合概念として明快に解説。誠実性、グリット、好奇心、自己制御、樂觀性、レジリエンス、マインドフルネスなど関連する15の心理特性を取りあげる。教育や保育の現場で育む可能性も展望する。

今日、僕の家にはロボットが来た。

—未来に安心をもたらすロボット幸学との出会い— 上出寛子、新井健生、福田敏男編著 四六・208頁・定価2420円(税込) わたしたちに安心をもたらすロボットとは？ 人型手伝いロボットと暮らすヒトとその家族の物語を例にとりながら、工学技術(自然科学分野)と心理学・社会学・哲学・仏教哲学など人文科学的分野両方の視点を交えて考える。

シリーズ 音響・音楽心理学

心理学と仕事19 太田信夫監修 中島祥好、谷口高士編集 A5・200頁・定価2530円(税込) テレビ番組の効果音に気分を誘導されたり、印象深いメロディをつい口ずさんだりなど、人の心や行動は日々聞こえる音に影響されている。そのメカニズムを明らかにする音響・音楽心理学の実践や魅力をあまねく紹介。

Rを使った因子分析実践入門

松尾太加志著 A5・約176頁・予価2420円(税込) 統計分析フリーソフト「R」で実践的に因子分析を行うための入門書。Rの基本的な使い方と使用の具体例、因子分析の基本的な流れ、因子の解釈・適合度の見方・変数の取捨選択等といった実践の説明等を、数理的な記述に頼らず解説。今秋刊行予定。

未来思考の心理学

〔仮題〕 G. エッティンゲンほか編 後藤崇志、日道俊之、小宮あすか、梶見孝監訳 A5上製・約800頁・予価16500円(税込) 期待や心的時間旅行、自己制御、樂觀主義など既存の概念を未来思考という枠組みで捉え、心理学にとどまらず、比較認知科学、行動経済学等他領域の知見もとりいれ解説。今秋刊行予定。

産業・組織心理学を学ぶ

産業・組織心理学講座 新巻 一心理職のためのエッセンシャルズ— 産業・組織心理学学会企画 金井篤子編 A5・280頁・定価2640円(税込) 学会設立35周年記念講座シリーズ全5巻刊行開始！本巻では、産業・組織心理学の目的や歴史等の基礎を解説、更に人事、組織行動、作業、消費者行動にまつわる研究分野を概観、その全体像を示す。

公認心理師・臨床心理士のための福祉心理学入門

塩谷準平、吉村夕里、川西智也著 A5・272頁・定価2750円(税込) 福祉の現場を児童・障害者・高齢者の三領域から概観し、各現場で働く心理職に役立つ手引書として、多職種連携による実践を成すための教養書として必須の知識や心得を網羅。かつ各現場における実践の魅力ややりがいを伝える。

Rを使った(全自動)統計データ分析ガイド

—フリーソフトjs-STAR_XRの手引き— 田中 敏著 A5・272頁・定価3300円(税込) 統計手法を知らなくても統計分析ができる画期的な本。統計分析フリーソフトjs-STAR_XRは、度数や平均値の分析、多変量解析の演算に加えて、計算結果の読取とレポートの作成までも自動化。本書はソフト使用法からレポートの仕上げ方まで懇切にガイド。

心理学って面白そう！
どんな仕事で活かされている？

シリーズ 心理学と仕事〔全20巻〕 完結！ シリーズ 監修 太田信夫
●A5判・148～232頁・定価2200～2530円(税込)

- | | | | | |
|-------------|------------|------------|-------------|----------------|
| 1 感覚・知覚心理学 | 2 神経・生理心理学 | 3 認知心理学 | 4 学習心理学 | 5 発達心理学 |
| 6 高齢者心理学 | 7 教育・学校心理学 | 8 臨床心理学 | 9 知能・性格心理学 | 10 社会心理学 |
| 11 産業・組織心理学 | 12 健康心理学 | 13 スポーツ心理学 | 14 福祉心理学 | 15 障害者心理学 |
| 16 司法・犯罪心理学 | 17 環境心理学 | 18 交通心理学 | 19 音響・音楽心理学 | 20 ICT・情報行動心理学 |

くらしを支え
未来を築く...



心理学検定

第14回

心理学の基礎知識を身につける。
実力を試す。

2021
8/1日～31日 火

全国47都道府県で受検可能
第14回より受検方法が変更になりました。

出題科目

- A領域** 【原理・研究法・歴史】【学習・認知・知覚】
【発達・教育】【社会・感情・性格】【臨床・障害】
- B領域** 【神経・生理】【統計・測定・評価】
【産業・組織】【健康・福祉】【犯罪・非行】

資格認定

- 特1級** A領域5科目・B領域5科目 全10科目の合格者
(申請による)
- 1級** A領域4科目を含む合計6科目以上の合格者
- 2級** A領域2科目を含む合計3科目以上の合格者

POINT

- ◎級は合格科目の累積で認定されます。合格科目は5年間有効です。
- ◎日本心理学会「認定心理士」の資格保有者は、A領域3科目に合格すれば、「心理学検定1級」を取得できます。
- ◎資格は更新制ではなく、生涯有効です。

実施概要

受検科目	一般	団体 ^{※1} (20名以上)
A領域(5科目/100分)	¥7,700	¥6,600
B領域(5科目/100分)	¥7,700	¥6,600
A+B領域 ^{※2} (5科目/100分)+(5科目/100分)	¥12,100 (3,300円お得!)	¥9,900 (3,300円お得!)

- ※1: 団体代表者が、5/10～7/10までに申請してください。
- ※2: 受検期間内であれば、A領域、B領域を別日時、別会場で受検することが可能です。

申込期間

2021年6月3日(木)～7月20日(火)

お問い合わせ

一般社団法人日本心理学諸学会連合
心理学検定局 〒113-0033 東京都文京区本郷 5-26-5-901
E-mail: info@jupaken.jp Fax: 03-3830-0303

「心理学を極める人も。心理学を始める人も。」

全10科目で幅広い心理学の基礎知識を測定する、學術団体が直接行っている信頼できる検定です。心理学の扉をたたいてみませんか？

日本心理学諸学会連合(日心連)は、56の心理学関係の学会が加盟する団体で、日本における心理学ワールドの統合と発展を目指して、活動を続けています。



一問一答形式の問題集!

公式問題集&基本キーワードも発売中!

お申し込みはこちら! 今すぐ詳細を確認!

心理学検定 <https://jupaken.jp/>

Twitterで最新情報
配信



詳細は
ホームページで



一般社団法人日本心理学諸学会連合

心理学検定